加市水市米	2+ =2 +4 4+ + All
一般事務事業	建設整備事業

事務事業の段階 □計画化 □ 事業化 ☑ 事業 □ 管理

4-05-16-02

政策名	4環境にやさしい港
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり
個別施策名	16港湾の温室効果ガスを削減する
事務事業名	02第2次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の推進

	人正理教中	連携担当課
責任者	企画調整室 環境担当課長	
油级生	052-654-7910	

1 PLAN(目的·概要)

目的	本組合より発生する温室効果ガス総排出量を削減し、環境負荷を低減します。	事業期間	平成19~23年度
704 000	目標年度における事務・事業活動から排出される温室効果ガス総排出量の削減目標・取組内容を設定し、計画を確実に推進します。		地球温暖化対策の推進に関する法律
	標・ 収粒内分で設定し、計画で確美に推進しより。	実施義務	☑有 □無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】

・22年度は、実行計画に定められている取組項目・取組事項について、四半期毎の職場単位の報告を受けました。また、同様に報告を受けている燃料等の月毎使用量について、平成22年7月に各環境管理委員へ報告し、集計結果を記者発表及び 本組合ホームページにて公表しました。
・23年度は、22年度と同様に実施する予定です。

		-	20十度は、22十度と同様で大胆がようだという。								
	活動指標	年	度	19	20	21	22	23	最終目標	23	備考(指標の算定方法など)
取組	項目•取組事項	単位	目標	4	4	4	4	4		4	実行計画で定めている各所属推進委員
の報	告回数	回	実績	4	4	4	4				から事務局への報告回数(四半期ごと(4 回/年度))
		単位	目標								
			実績								
事業	費		十円	0	0	0	0	0			
人員	正規職員		人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30			
	嘱託職員	単位	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/		
	人件費相当額		千円	3,474	3,508	3,433	3,392	2,630			
事業費	費・人件費の合計		十円	3,474	3,508	3,433	3,392	2,630	/	/	

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込)← →予算ベース

	成果指標	年	度	19	20	21	22	23	最終目標	23	備考(指標の算定方法など)
		単位	目標	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	•	5.0	17年度を基準年度とした当該年度の温
温至削減	『効果ガス排出量 『率	%	実績	0.1	22.4	23.4	23.0				室効果ガス排出量削減率 21年度の実績は船舶の廃船を除くと、実
133#3	• •	達成四	枢(%)	2.0	448.0	468.0	460.0				質5.6%となる。
		単位	目標								
			実績							_	
		達成率	率(%)								
	観点	課題の	の有無	現状の「見える化」					その他特記事項		
必	組合関与の必要性	有	· (##)								
要性	目的・水準の妥当性	有	- (#)	・本組合においても、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)に基づき、地球温暖化対策実行計画を策定し推進することが義務づけられています。							
壮	利用者などの 対象者ニーズ	有	=								
有効	成果の達成度	有	- (#)		・21年度においては、船舶の廃船を除いても、実質5.6%となり目標の5%を達成し						%を達成し
性	内容の妥当性	有	(#)	ました。							
効	実施主体の妥当性	有	- (##)								
率性	受益者負担の適正性	有	- (##)								
1生	経済性	有	- (無)								

4 ACTION(取組)

T AUTION	* (AX/III)							
今後の事務 事業の方向性	今後の取締	組の方向性	今後の取組の方向性の判断理由					
完了	成果	コスト	23年度にて事業完了見込みであるため。					
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)								
更なる温室効果ガス削減を推進します。								